

アルマ望遠鏡で知る 最新の天文学講座



©A.Duro/ESO

天の川の下で観測を行うアルマ望遠鏡

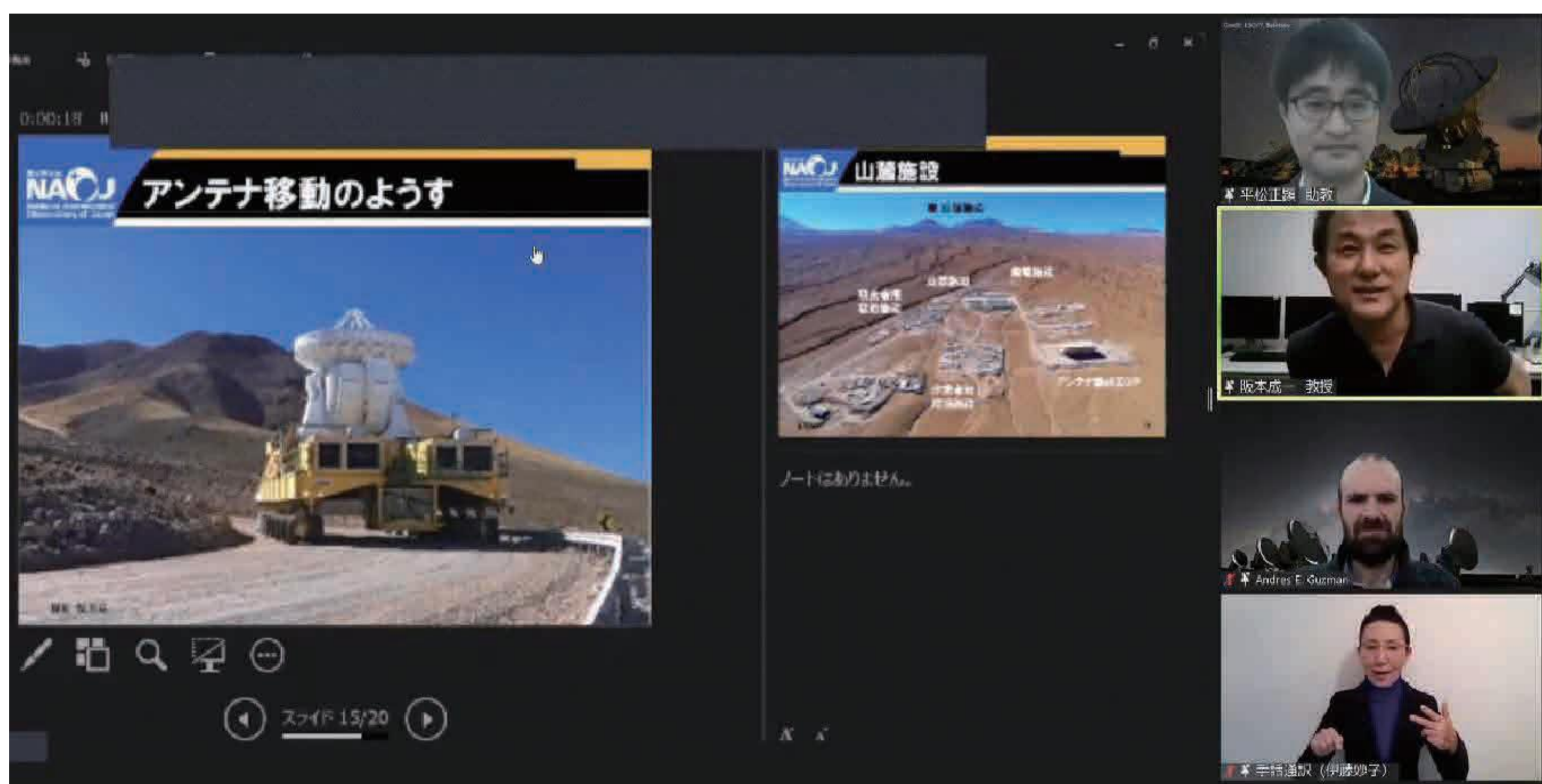


天文がつなぐチリとの交流

令和2年12月6日（日）、国立天文台の3人の天文学研究者による、オンライン講座を開催しました。

講座では、チリとアルマ望遠鏡の紹介や、講師がアルマ望遠鏡を使って取り組んでいる研究内容「星の誕生」の紹介など、たくさんのお話を伺うとともに、共生社会の実現に向けて、手話での同時通訳を行うことで、聴覚に障がいのある方でも楽しめる内容としました。

質疑応答の時間には、たくさんの質問が出され、市民が天文学者とつながることができる貴重な機会となりました。



講座でアンテナの移動方法を説明する阪本教授



登壇講師紹介



さかもと せいいち
阪本 成一 さん

1965年東京都調布市生まれ。専門は電波天文学。チリのアタカマ高地で運用中のアルマ望遠鏡の候補地調査から加わった中心メンバーの一人。



アンドレス・グスマン さん

チリ共和国サンティアゴ出身。チリ大学天文学科を卒業し、博士号を取得。専門は星の誕生で、特に電波天文学観測で研究を進めている。



ひらまつ まさあき
平松 正顕 さん

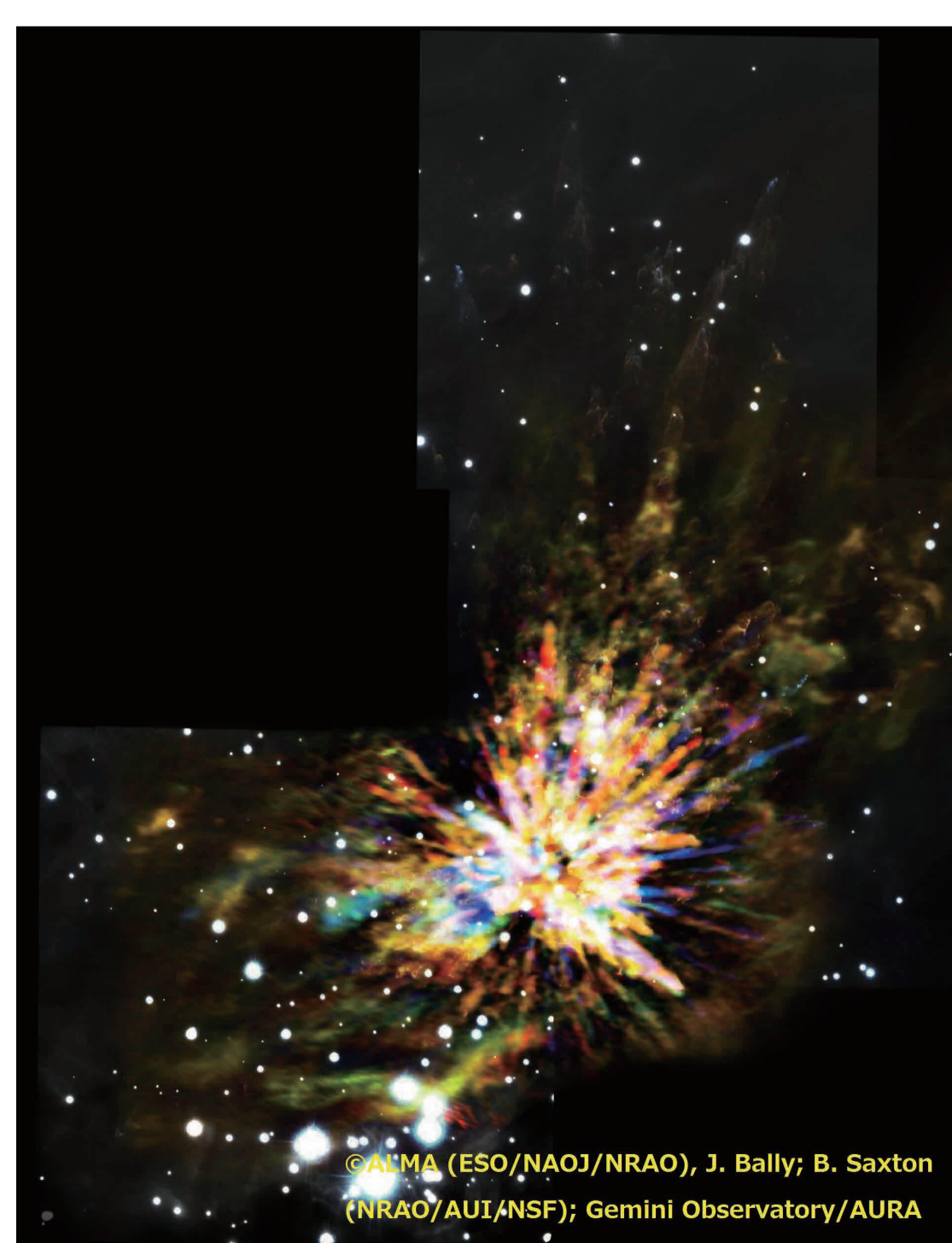
1980年岡山県生まれ。専門は電波天文学。大学院時代にチリ・アタカマ高地の電波望遠鏡を使って研究を開始。現在はアルマ望遠鏡の東アジア地域広報担当として、講演や執筆活動などにも従事している。

Check! ★★

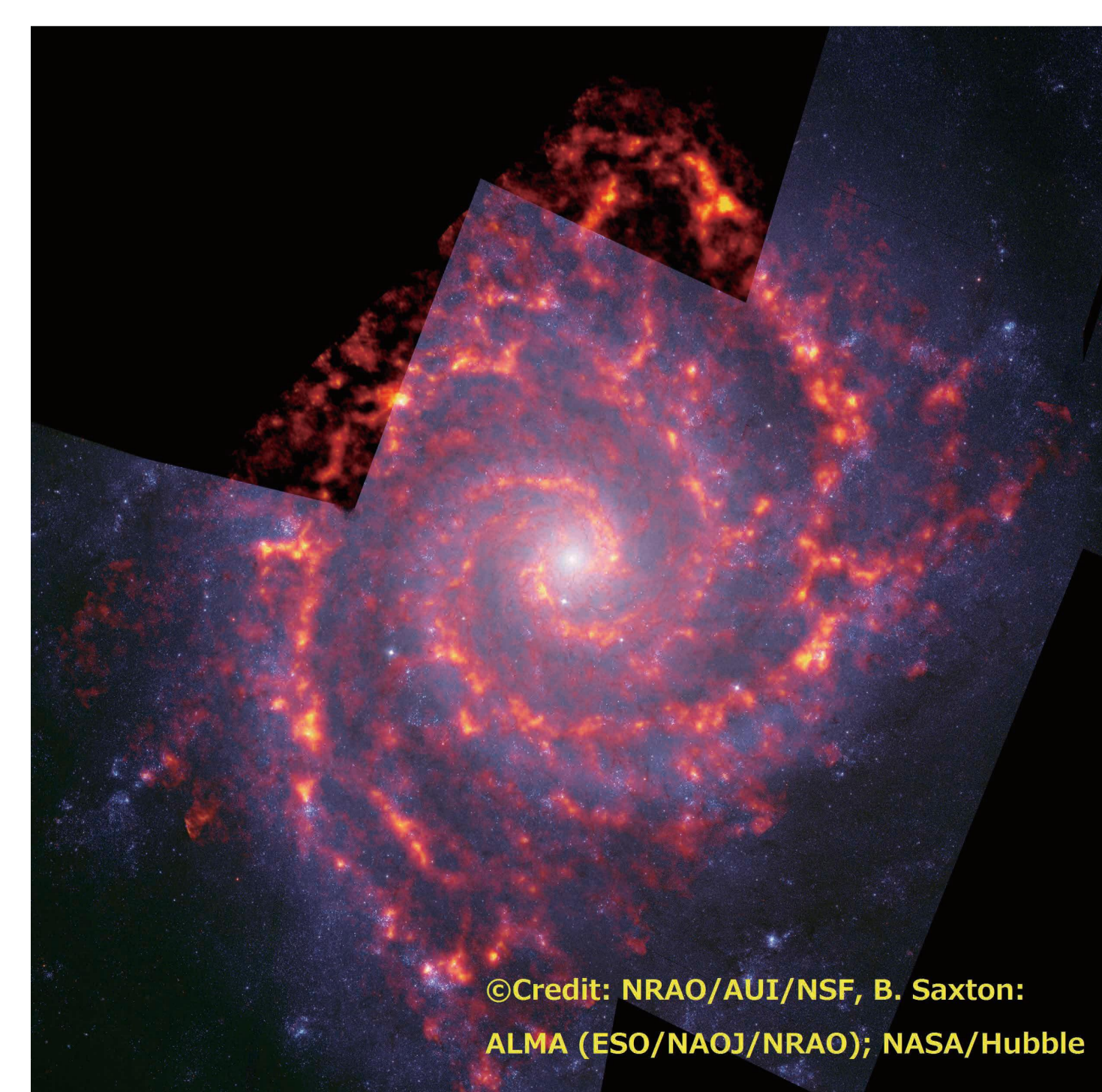
講座の内容については、下記QRコードを読み込んでいただき、「三鷹市スポーツと文化部」のYouTubeチャンネルから見る事ができます。ぜひご覧ください。



講座動画はコチラ！



アルマ望遠鏡が撮影した「宇宙花火」オリオンKL



アルマ望遠鏡とハッブル宇宙望遠鏡が撮影した渦巻銀河M74